

日々是Oracle APEX

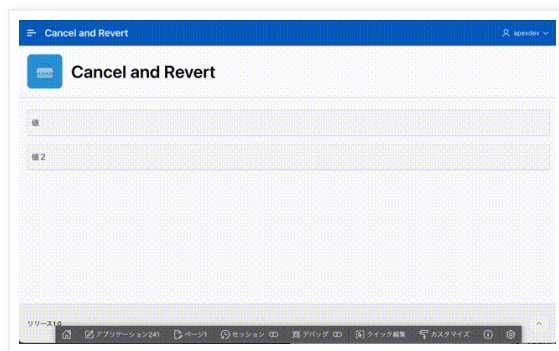
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年7月27日 木曜日

ページ・アイテムの値の変更をキャンセルしたときに元の値に戻す

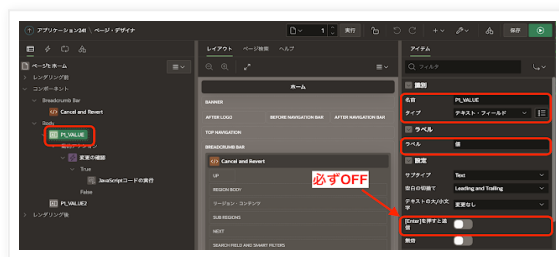
ページ・アイテムの値の変更時に確認のダイアログを表示し、そのダイアログでキャンセルをクリックしたときに元の値に戻すようにします。

以下のような動作です。



ページ・アイテムP1_VALUEを対象に、上記の実装を行います。

設定の[Enter]を押すと送信はオフにします。ページの送信は、ページ・アイテムの値の変更イベントとは関係なく実行されます。また、ページ・アイテムがページに1つだけの場合は[Enter]を押すと送信がオフでもEnterを押すとページの送信が行われるため、このような実装はできません。



ページが開いたときのページ・アイテムP1_VALUEの値を保存しておきます。

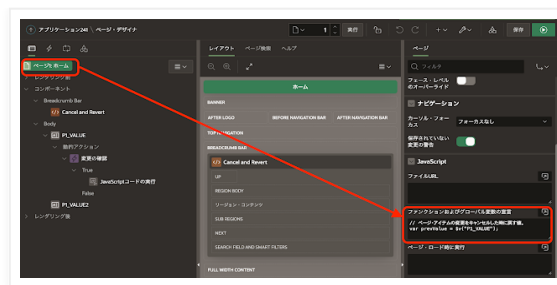
ページ・プロパティのJavaScriptのファンクションおよびグローバル変数の宣言に以下を記述します。

```
// ページ・アイテムの変更をキャンセルした時に戻す値。
```

```
var prevValue = $v("P1_VALUE");
```

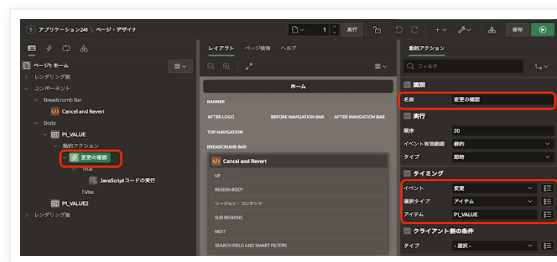
saveValue.js hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)



ページ・アイテムP1_VALUEに動的アクションを作成します。

タイミングのイベントは、ページ・アイテムのデフォルトである**変更**を選択します。

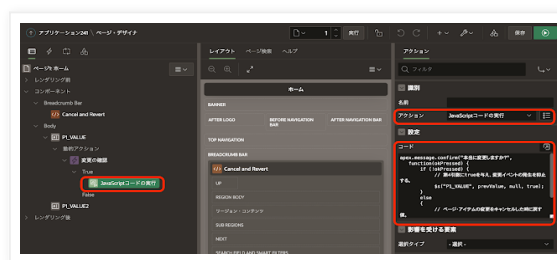


TRUEアクションとしてJavaScriptコードの実行を選択し、設定のコードに以下を記述します。

```
apex.message.confirm("本当に変更しますか?",
function(okPressed) {
    if (!okPressed) {
        // 第4引数にtrueを与え、変更イベントの発生を抑止する。
        $s("P1_VALUE", prevValue, null, true);
    }
    else
    {
        // ページ・アイテムの変更をキャンセルした時に戻す値。
        prevValue = $v("P1_VALUE");
    }
}
);
```

revert-when-cancel.js hosted with ❤️ by GitHub

[view raw](#)



以上で実装は完了です。作成したアプリケーションを実行すると、記事の先頭のGIF動画のように動作します。

今回作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。
<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/cancel-and-revert.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 18:23

共有

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
